
「女性外性器の解剖学的・機能的研究」に関するお知らせ

このたび、スワンクリニック銀座で治療を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2021年2月1日～2022年10月31日の期間にスワンクリニック銀座を受診し、婦人科形成（外陰部手術）を受けた症例

2. 研究の目的

女性外性器に関して、世界的にも正確で詳細な記述は少なく、外陰部の「正常な」に関する定義については、いまだに議論がある。本邦でも脱毛が普及し、大陰唇・小陰唇肥大や陰核包茎が認知されてきており、婦人科形成と称する小陰唇縮小術などが普及している。本邦においても、女性の外性器の平均的な形態（大きさ、色調など）はいまだ不明な点が多く、手術前後の解剖的な標準がない現状である。術前術後の形態的变化や審美的変化などの解剖学的調査、術前術後の機能的変化の調査を行うことで、手術の際のデザインや手技についての標準化を行うことが可能と考えられこの度研究を行うこととした。

3. 研究期間

病院長の許可後～2024年3月31日まで

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

スワンクリニック銀座での診療時のカルテ記録、診察時記録写真、ご協力いただいたアンケート

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である鈴木愛弓が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

スワンクリニック銀座を受診し、婦人科形成（外陰部手術）を受けた患者様のカルテ記録、診察時記録写真、質問やアンケート結果を用います。

管理方法

共同研究機関で得たデータ(USB)の当院への物理的な移動については鈴木愛弓が行うこととする。医局内の PC を使用して統計学的解析を行い、共同研究機関で得たデータはインターネットに接続されていない PC を使用し、外部記憶媒体 (USB メモリ) 内に記憶させ、その記憶媒体は個人情報管理者形成外科美容外科医局で鈴木愛弓の鍵のかかるデスク内に厳重に保管する。

共同研究機関での管理方法

記録写真に関してカルテ内に保存されているものはカルテから参照を行う。それ以外の記録写真についてはインターネットに接続しない PC を使用して保管する。データと写真についての対応表を作成する場合には、カルテ ID で管理を行う。共同研究機関でのデータの収集を行い、管理は USB メモリ内に保存し、スワンクリニック銀座内にある福澤見菜子の鍵のかかるデスク内に厳重に保管する。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター形成外科・美容外科 助教 鈴木 愛弓
スワンクリニック銀座 院長 福澤見菜子

4. 試料・情報の管理責任者

スワンクリニック銀座 院長 福澤見菜子

5. 試料・情報の提供について

スワンクリニック銀座でデータを収集し、スワンクリニック銀座・埼玉医科大学総合医療センターで統計学的解析等を行う。これらは学会発表・論文発表で公開される

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター形成外科・美容外科
研究代表者 形成外科・美容外科 助教 鈴木 愛弓
連絡先

埼玉医科大学 総合医療センター形成外科・美容外科
埼玉県川越市鴨田 1981 TEL 049-228-3639
鈴木愛弓 prs.ayumi0101@gmail.com

○研究課題名：女性外性器の解剖学的・機能的研究

○研究責任（代表）者：形成外科・美容外科 助教 鈴木 愛弓